

VI 学術的・文化的な交流の促進

1. 学術研究のネットワークづくり

ア ねらい

錦江湾をめぐる火山や海洋，歴史・文化等に関する学術研究機能の充実を促進するとともに，国内外の研究者を招き，学会やシンポジウム等を開催し，これらを通じて学術研究のネットワークの形成を図る。また，それらの成果を，錦江湾の一層の魅力高める情報として国内外に発信し，錦江湾のイメージ戦略に活用する。

イ 事業内容

事業項目	事業概要	事業主体
①鹿児島大学水産学部附属海洋資源環境教育研究センターの活用	<p>錦江湾や鹿児島県沿岸各地の水産や海洋環境の諸問題を解決するための研究を行う。</p> <p>①錦江湾ステーション： 環境負荷を低減する閉鎖循環方式を用いた養殖技術の開発，水産有用資源の保護と増殖に資する漁具及び魚礁の開発，山川湾周辺の嫌気性光合成細菌の分布調査</p> <p>②東町ステーション： 赤潮発生メカニズムとモニタリング手法の開発，微生物を用いた環境修復などに関する研究，沿岸漁業において効果的に生産効率を向上させる技術開発，漁獲物および養殖生産物の処理の効率化，河川環境で人工構造物を設置した場合の水産有用資源の生息環境保全</p>	鹿児島大学
②「上野原縄文の森」の活用 <再掲>	<p>「上野原縄文の森」の円滑な管理運営を行うとともに，施設を活用した各種イベント・体験活動の実施，また，施設に関する様々な情報を発信することにより，青少年や県民の鹿児島の歴史や文化に対する関心を高め，観光や地域振興等の幅広い活用を図る。</p> <p>【主な内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「上野原縄文の森」管理運営事業 円滑な管理運営と更なる県民へのサービス向上に努める。 2 ジョイJOYじょうもん事業 企画展による情報発信を通じて，鹿児島の歴史に対する関心を高める。 3 その他 縄文の森春・秋まつりや考古学講座，アートギャラリー一等を実施して利用者の拡大を図る。 	鹿児島県
③インターネットによる国内外への情報発信	<p>鹿児島大学，かごしま水族館（海洋），県埋蔵文化財資料センター（歴史），京都大学（火山）などと連携を図り，錦江湾に関するホームページを拠点として，国内外への情報発信機能の強化を図る。</p>	大学など
④桜島・錦江湾ジオパーク推進事業 <再掲>	<p>世界認定を見据えて，ジオパーク活動を推進することにより，桜島・錦江湾の魅力づくり等のこれまでの取組をさらに充実させ，国内外に一体的に情報発信していくことを通じて，ジオの魅力・特性を生かした観光交流の推進や，自然科学への認識の向上，鹿児島への愛着や誇りの醸成を図る。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 世界認定に向けた取組 2 ジオに関する活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認定ジオガイドのフォローアップ ・ ジオツアー，セミナー，イベント等実施 ・ ガイドの理解増進 3 情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ HP運用，各種媒体の作成 4 桜島コンシェルジュセンターの運用 	桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会，鹿児島市，垂水市，始良市

2. 湾岸における文化活動の促進

ア ねらい

火山や海洋，歴史等に関する学術研究の成果を県民に広く提供し，錦江湾に対する関心や理解を高める。また，湾岸地域のウォーターフロントを舞台とした各種の文化活動を促進するとともに，海をテーマとする音楽会や美術展の開催を促進するなど，海と結びついた豊かな地域文化の形成を目指す。

イ 事業内容

事業項目	事業概要	事業主体
①錦江湾潮風フェスタ (鹿児島市ウォーターフロントパーク，錦江湾ほか) <再掲>	多くの観光客や市民に，鹿児島市の貴重な観光資源である錦江湾や桜島の魅力を感じてもらうことを目的として開催する。 【内容】 1 第1回Sea級グルメコンテスト九州大会との共催 2 連携中枢都市ブース 3 ステージイベント 4 飲食・PRブース 5 水族館関連イベント 6 潮風体験イベント	同実行委員会 (鹿児島市)
②湾岸における伝統行事の保存	ハンギリ出し 【場所】 霧島市広瀬海岸潮遊池 【概要】 江戸末期の新田干拓時に作られた潮だまりを管理するためにおかれた水守が，許可証を出しエツナ（ポラの子）を捕らせたのが起源と言われている。「ハンギリ(半切り)」とは，底の浅い桶（馬の飼葉桶）のことで，この飼葉桶と孟宗竹で筏（いかだ）を組み，筏の上から投網で漁をする。 毎年，盆明けの8月16日に精進落としの伝統行事として行われるもので，とれたエツナは，その場で料理される。	小村新田沼魚取り組合
	おろごめ（苅込） 【場所】 垂水市柘原海岸 【概要】 藩政時代，野生の馬を「おろ」と呼ばれる穴に追い込んで捕まえる姿が勇壮だったことから，子どもたちにも野生馬の如く元気に育てほしいという願いを込めて実施されている。 6月第1日曜日(予定)に午前3時から松明に火を灯し，裏山(山神)に登った後，地元の切目王子神社に安全祈願を行う。午前5時頃，砂浜に掘られた3m四方，深さ1.5mの「おろ」と呼ばれる穴に小学1～5年生が入り，6年生から引っぱり出されないよう激しい肉弾戦が繰り広げられる。 会場には，子どもたちのたくましい姿を一目見ようと，保護者や地域の方々に加え，報道関係者も取材に来る。	柘原地区公民館，柘原子ども会育成会